

ベトナム人労働者による副業と東ドイツ社会

村上 遥香

大阪市立大学大学院 文学研究科 哲学歴史学専攻

西洋史学専修 後期博士課程1年生

Keywords: 東ドイツ, ベトナム, 移民, 副業, 社会主義

1. はじめに

本報告の目的は、1980年代のドイツ民主共和国（Deutsche Demokratische Republik：以下、東ドイツ）で見られた、ベトナム人労働者による副業活動について検討することにある。

1960年代までの東ドイツは、他の社会主義国や社会主義社会を目指す発展途上国との連帯の一環として外国人留学生・研修生の受け入れを行っていた（近藤 2010, pp.246-249）。こうした連帯の延長線上で、外国人労働者の雇用がはじまったと考えられる。政府間の協定に基づき東ドイツへ迎え入れられた外国人労働者は、統一後のドイツにおいて「契約労働者（Vertragsarbeiter）」と呼ばれた。彼らは1970年代まではドイツ語の学習や職業訓練の機会を与えられていたが、東ドイツが経済的危機を迎えた1980年代には、単純労働者へと変化した（近藤 2010, pp.252-254）。

外国人契約労働者は、専用の宿舎での生活を強いられるだけでなく、東ドイツ人との交流を制限されるなど、抑圧的な制度のもとに置かれた。また、妊娠した女性労働者が、帰国や中絶を強制されることもあった（Marburger & Helbig & Kienast & Zorn 1993, S.14）。このような抑圧的な状況下におかれた契約労働者を、従来の研究は、東ドイツの体制の犠牲者として扱ってきた。

2. ベトナム人労働者による副業と東ドイツ社会

2.1 ベトナム人契約労働者

東ドイツに投入された外国人契約労働者のうち、6割以上を占めたのがベトナムからの労働者であった。1980年4月11日に東ドイツ・ベトナム間で協定が結ばれてから1989年までに59,000人以上のベトナム人労働者が受け入れられている（Dennis 2005, S.15）。他国からの労働者同様、ベトナムからの労働者は、生活空間において様々な制限を受けていた。一方で、彼らは必ずしも規律を遵守していたわけではなく、宿舎内で副業活動を行い、その活動を通して東ドイツ人と交流するといった自律的な行動をとることもあった。

これまでの外国人契約労働者に関する研究では、ベトナム人達による副業活動についての言及はあるものの、副業活動を可能にした要因や、副業活動がベトナム人や東ドイツ社会に何をもたらしたのかについての検討は行われてこなかった。これは、外国人契約労働者の自律的な行動を過度に取り上げることが、東ドイツの非合法的行為の矮小化に繋がる恐れがあるためだ

と考えられる。しかし、東ドイツ社会における外国人労働者の実態についてより詳細に説明するためには、ベトナム人の副業活動について検討する必要がある。

2.2. 副業としての衣類製作

ベトナム人契約労働者は、母国への送金や、東ドイツでの採用獲得のための賄賂によって生じた借金の返済を目的に、滞在期間中の収入を出来るだけ増やそうと試みた。その際、彼らは、配属された企業内でのシフトを増やすだけでなく、副業活動を行った。1988年9月には、ハレ地区の管理当局が、ベトナム人契約労働者の半数が副業活動や投機活動に従事していると報告を行っている(Dennis 2005, S.25)。

副業活動では、ジーンズやワイシャツといった衣類の製作が好まれた。当時の東ドイツでは、原材料不足や生産技術の遅れを背景に、十分な量の消費財の生産が行われていなかった。それだけでなく、国際的な流行へ即座に対応できない計画経済は、人々が求めるような品質の商品を提供することができなかった。そのため、製造スピードが早く、東ドイツにおける商品需要を意識した衣類製作を行っていたベトナム人による商品は、多くの東ドイツ人から求められた(Dennis 2007, S.113)。ベトナム人による副業は、彼らの収入を増やすという目的だけでなく、東ドイツ社会における商品需要にも適う行為であったと考えられる。

また、副業活動への参入は、ベトナム人に同郷者コミュニティへの参入をもたらした。Webドキュメント「狭量な兄弟国」内のインタビュー動画によると、彼らは専用宿舎内に、顧客の獲得・測定・裁断・裁縫といった衣類製作のための作業ラインを形成していた。こうした作業ラインは、ベトナム人契約労働者のコミュニティとしての役割を果たしていたのである。

参考文献・参照した Web ページ

Dennis, Mike (2005) “Die vietnamischen Vertragsarbeiter und Vertragsarbeiterinnen in der DDR”, in: Weiss, Karin&Dennis, Mike (Hg.), *Erfolg in der Nische?: die Vietnamesen in der DDR und in Ostdeutschland*, LIT VERLAG, Münster, S. 15-49.

Dennis, Mike (2007), “Die Vietnamesen in der DDR im letzten Jahrzehnt der SED-Herrschaft”, in: Peter Barker, Marc-Dietrich Ohse, Dennis Tate (Hg.), *Views from Abroad*, WBV, Bielefeld, S. 107-118.

Marburger, Helga & Helbig, Gisela & Kienast, Eckhard & Zorn, Günter (1993) “Situation der Vertragsarbeiternehmer der ehemaligen DDR vor und nach der Wende”, in Marburger, Helga (Hg.), *Und wir haben unseren Beitrag zur Volkswirtschaft geleistet: Eine aktuelle Bestandsaufnahme der Situation der Vertragsarbeiternehmer der ehemaligen DDR vor und nach der Wende*, Iko-Verlag, Frankfurt (Main), S. 4-75.

近藤潤三 (2010) 『東ドイツ(DDR)の実像：独裁と抵抗』木鐸社。

Webドキュメント「狭量な兄弟国」(Zentrums für Antisemitismusforschung TU Berlin, “Eigensinn im Bruderland”, URL: <https://bruderland.de/>)、最終閲覧日 2021年10月31日